

授業科目名・形態	社会福祉概論Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里 操・林 宏二	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

社会福祉概論Ⅰの学びを前提にして、実際の社会福祉制度・行政の基なる社会福祉政策について理解する。社会福祉の歴史的な理念や価値観とは別に、今日の福祉制度は福祉政策の枠組みの中でシステムとして存在している。今日の福祉政策の重要性を理解するとともに、政策の策定から実施に至るプロセスと結果について評価できる専門的力量を身に付ける。概論Ⅱでは福祉改革以降の新しい福祉供給—利用システムの理解と関連施策について学ぶ。

【到達目標】

1. 福祉改革を始めとする政府主導の福祉政策とその課題を理解する。
2. 福祉サービスの供給—利用過程をシステムとして構造的に理解する。
3. 福祉関連施策について理解する。
4. 地域包括福祉システムに着いて理解し、そこでの社会福祉士の役割を理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 社会福祉政策の論点と課題①（社会福祉政策の論点と福祉政策論）（中里）
- 第2回 社会福祉政策の論点と課題②（福祉改革政策と国際動向）（中里）
- 第3回 社会福祉政策の論点と課題③（福祉国家における政府の役割）（中里）
- 第4回 社会福祉と市場経済・市民社会（中里）
- 第5回 社会福祉政策の手法（政策決定過程と政策評価）（中里）
- 第6回 社会福祉の供給体制（供給部門と供給責任、供給過程）（中里）
- 第7回 社会福祉の利用過程（社会福祉の供給システムと利用過程）（中里）
- 第8回 社会保障・福祉政策と教育政策（林）
- 第9回 社会保障・福祉政策と住宅政策（林）
- 第10回 社会保障・福祉政策と労働政策（林）
- 第11回 社会保障・福祉政策と医療政策（林）
- 第12回 ソーシャルワークと福祉制度・福祉政策という（林）
- 第13回 現代社会とソーシャルワークの展望と課題①（SWの専門性と職域）（林）
- 第14回 現代社会とソーシャルワークの展望と課題②（地域包括福祉システムとSW）（林）
- 第15回 授業のまとめ（総括）

【授業実施方法】 基本的には講義形式で行う

【授業準備】

前回講義内容を復讐する講義予定活動を読み専門用語概念などについて調べておく。疑問点を整備しておく。講義中に取り上げたテーマなどを自ら文献に当たるなどして確認する。社会福祉関連のニュースに関心を寄せ、目を通し自分なりの理解と説明ができる状態で主体的準備をする。

【主な関連する科目】 社会福祉概論Ⅰ、 社会保障論、 公的扶助論

【教科書等】 新・社会福祉士養成講座 『現代社会と福祉』 第4版（中央法規）

【参考文献】 適宜紹介する

【成績評価方法】（出席状況・レポート） 30%、（期試験成績） 70%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

前期の学びを基礎に、後期は制度・政策の実際を福祉システムとして具体的に理解することが必要です。後期はより具体的・積極的に福祉問題に関心を寄せよう。地域包括支援システムを理解するために医療、介護、教育などの大領域と児童、高齢者、障害者などの分野横断的にトータルに理解するためしっかりと予習・復習をしてもらいたい。